

令和2年3月24日  
航空局首都圏空港課  
空港業務課

## 羽田空港の実機飛行確認における 騒音測定結果を公表いたします

騒音測定地点ごとに計算した機体サイズ別の実測値の平均と、住民説明会等でお示した推計平均値を比較したところ、約6割は推計平均値と同等、約2割は推計平均値以上、約2割は推計平均値以下であることが確認できました。

3.45度の降下角での運用による騒音軽減効果も確認できました。

実機飛行確認においては、19箇所では航空機騒音の測定を行い、その結果について速報として各測定局で発生した最大と最小の航空機騒音の大きさや発生回数を公表していました。このたび、測定結果を精査し、別添のとおりとりまとめを行いましたので公表いたします。

なお、速報値の修正箇所についても併せて公表いたします。

### <とりまとめの概要>

- 実測値の平均のうち約6割(30/51)は住民説明会等でお示した推計平均値と同等、約2割(11/51)は推計平均値以上、約2割(10/51)は推計平均値以下でした
- 3度の降下角の運用での実測値の平均と3.45度の降下角の運用での実測値の平均を比較したところ、3.45度の降下角の運用において-1.1～-0.1dbの騒音軽減が確認できました
- 3.45度の降下角の運用時に、角度をできるだけ維持して降下している着陸機と2段階降下(1,500フィート付近で3度の降下角となる方法)を使用している着陸機の実測値の平均を比較したところ、角度をできるだけ維持している着陸機の方が騒音軽減効果がより大きい傾向にあることも確認できました

### <お問い合わせ>

#### ■新飛行経路全般について

国土交通省航空局首都圏空港課 塚本・須山(内線:49327)

#### ■騒音測定結果について

国土交通省航空局空港業務課 寺坂・湯浦(内線:49432・49434)

電話:03-5253-8111(代表)03-5253-8724(直通)FAX:03-5253-1658

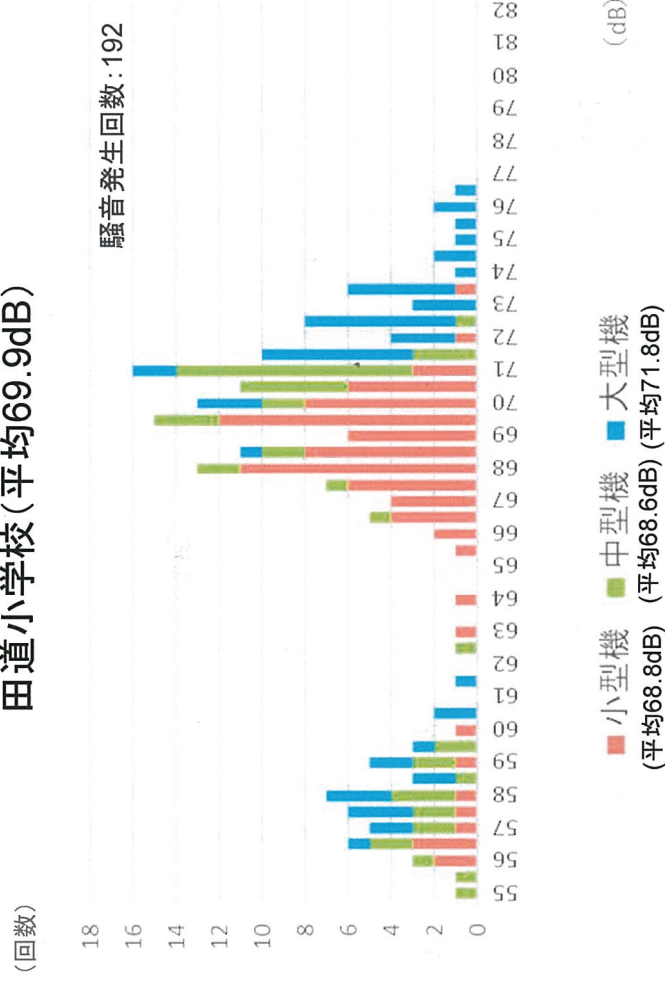
# 各測定地点の測定結果概要（目黒区立田道小学校）

## ○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・A滑走路着陸経路の側方400m程度場所。
- ・C滑走路着陸経路を使用した航空機は距離が遠いため音が小さい。
- ・羽田空港からは11km程度。

## ○実測データの分布

田道小学校(平均69.9dB)



実施日 (実施時間)	2/2 (96分)	2/3 (144)	2/4	2/5	2/7	2/11	2/12 (152)
日Lden	43.4	48.1	41.8	43.0	47.7	43.0	47.0

日Ldenは当該測定地点において同日に測定された実機飛行確認の実測の結果を集計して算出したもの。

## ○測定結果

	実測値の平均		住民説明会等でお示した推計平均値 (A滑走路)
	C滑走路着陸機を除いた実測値の平均		
大型機	71.8dB	73.3dB	74~73dB
中型機	68.6dB	70.6dB	71~69dB
小型機	68.8dB	69.3dB	71~68dB

## ○分析結果の概要

- ・中型及び小型機では実測値の平均が推計平均値と同程度。
- ・大型機では実測値の平均が推計平均値をやや下回っている。
- ・RNAV着陸経路とILS着陸経路を比較すると、高度差による直線距離の差により、RNAVの実測値の平均の方がILSの実測値の平均を下回っている。